



議会だより

# かどがわ



地どれ  
うまい伊勢エビ

## もくじ

平成17年度決算認定	2
決算認定審査報告	4
一般質問	6
条例等	11



平成18年11月  
NO. 108

# 平成17年度決算 一般会計、特別会計および水道会計の すべての認定を全会一致で可決

9月定例議会  
9月7日～21日

## 17年度会計別決算状況

		歳出決算額	残 高
一 般 会 計		65億8,052万円	3億1,146万円
特 別 会 計	国 民 保 険	20億6,948万円	1億6,475万円
	老 人 保 健	19億1,749万円	1,933万円
	介 護 保 険	10億7,674万円	5,102万円
	草川土地区画整理事業	224万円	3,065万円
	簡易水道事業	990万円	217万円
合 計		116億5,639万円	5億7,941万円

水道事業会計	5億0,877万円
--------	-----------

※金額はすべて千円以下を省略しています

諸報告、条例、補正、認定、財産取得、の15件は、委員会、本会議において、提案理由説明、質疑、討論の後、全会一致又は賛成多数で可決しました。

10名の議員が21問の質問を行いました。



「裁判員制度」研修会

### 主な事業

- ・門川中学校校舎改築(16年度から継続。太陽光 発電設備事業も含め完成。)
- ・中央保育所の増設
- ・門川漁港内浮棧橋完成
- ・放課後児童対策事業(5ヶ所で158名)
- ・水道会計では加草配水池完成

# 総括意見

本会議は9月7日、15日間の日程で開会、諸報告4件、条例改正2件、補正予算5件、決算認定7件、財産取得1件について審議しました。

一般質問は10名の議員による21問、5時間30分の論戦でありました。18年度一般会計の補正は1億2,086万円、歳入では町税補正が主であり、特別会計の補正は前年度事業清算に伴う補正です。

## 平成17年度決算認定

町長より、「本町は16年12月に『門川町行財政改革構想』の策定を行うと共に、行財政改革を具体的に実施し、限られた財源の重点的配分と支出の効率化に努めた行財政運営を行ってきた」と発言があったことは、議会としては心強く受けとめたところであります。

## 一般会計、特別会計、水道事業会計決算の審査にあたっては、予算を適正にかつ効率的に執行しているかを基本として、各常任委員会において、審査した結果をうけ、本会議において認定することを可決しました。

## 一般会計 主な事業

門川中学校改築工事・5億6,950万円。  
中央保育所増築工事・3,609万円。放課後児童対策事業・908万円。門川漁港内浮桟橋工事・1億7,060万円。植樹祭植栽地整備工事等・特別会計は毎年増額しています。

## 水道会計 主な工事

加草配水池（電気、追塩設備）工事・1億2,233万円で完了しています。



門川中学校校舎



中央保育所（増築分）



イペー植樹祭



加草配水池



浮浅橋

## 歳出決算の状況及び前年度比較

	16年度	17年度
一般会計	73億2,154万円	65億8,052万円
国民保険	18億3,302万円	20億6,948万円
老人保健	18億5,287万円	19億1,749万円
介護保険	10億6,753万円	10億7,674万円

## 一般会計の残高

3億1,146万円

特別会計を含む総予算の残高、5億7,941万円であります。

私達は議員間の自由な討議と自己研鑽に努め、町長等の行政機関との持続的な緊張を保持、地方自治法の本旨である住民と共に進む議会を目指すことが、豊かなまちづくりにつながると考えます。

# 総務・財政常任委員会

守委託の選定について。

9月13日～20日までの5日間にわたり、平成17年度一般会計歳入歳出決算認定について審査を行いました。

審査を行う中で、主な質疑応答のみ申し上げます。

**Q** 公平委員・監査委員の研究について。

**A** 公平委員は年1～2回で監査委員は隔年ごとの全国研修が行われる。

**Q** 職員研修視察(海外)の方法・行程について。

**A** 県下の市町村を3班に分け1年に15～16名の職員が10日間位で先進国の視察研修を実施。3年に1回のサイクルである。

**Q** 交通安全対策事業での法令講習会のあり方。

**A** 交通安全協会や事業所等と連携して実施。

**Q** 電算機のリース及び保

**A** 業者の力量・実績・サービス等を考慮しながら選定している。

**Q** 公共施設ネットワーク光ファイバー使用料は固定なのか。又どのような形で金額が決まるのか。

**A** NTTの光ファイバーを借りており金額的には固定しています。

**Q** 歳入において地方交付税の特別交付税が30%もの減になっている原因は。

**A** 17年度中は他の市町村に比べ大きな災害がなかった。

**Q** 土地等賃借契約の基準は。

**A** 評価基準を参考にしているが公共性のあるものだから一般の貸付金に比べたら安くともある。

**Q** 保守点検の業務委託業者の選定は。

**A** 毎年入札するが特殊なものに関しては1社になる場合もある。

**Q** 企画費の委託料の内訳を知りたい。

**A** CD作成業務、植樹祭植栽地整備、省エネルギー設備導入事業化調査、廃止路線代替バス運行等の委託料です。

**Q** 指定統計調査費が増額しているが。

**A** 国勢調査の年だったので増えています。

**Q** 町税の歳入で伸びた理由は。

**A** 税制改革によるものです。しかし、たばこ税は健康増進法の施行で喫煙者が減少傾向で減額になっています。

# 文教厚生常任委員会

本会議で、当委員会に付託された平成17年度一般会計・特別会計決算認定について、各種資料に基づき審査を行いました。審査の中で、主な質疑応答を申し上げます。

## 教育費

**Q** 共同調理場の民間委託の効果は。

**A** 前年度より人件費を除いた委託料では908万ほど、人件費を言むと1,575万あまりの経費削減となっています。

**Q** 図書館の利用人数は昨年と比べてどうか?また図書カードの保有状況は。

**A** 利用者数は昨年より減少しているが、利用者数のカウントの方法が昨年と変わったためです。カード保有数は町内7,014名、日向市を含めると7,440名です。さらに委員より、今後図書

カードの推進を図ったかどうかとの意見があった。

## 民生費

**Q** 門川・西門川在宅介護支援センター運営事業の金額の配分は適正か。

**A** 要介護老人や介護者への相談・助言・指導などを行っている。門川での相談件数は年間3,453件、西門川2,111件で、必要なところに配分になっています。

**Q** 国民健康保険の未納が増加し、不納欠損額も増えてきている状況だが、これから未納についてどのように対処していくのか。

**A** 未納に関しては、その重大性を把握し、督促状や戸別訪問などを地道に行ってきた。しかしながらこれからは、税に関するほかの課とも総合的に話し合いを進めなが

ら、徴収方法のやり方を検討していかなければならないと考えております。

## 衛生費

**Q** ごみの処理・リサイクルについての考察は。

**A** 不燃ごみについては都市の業者から、まもなく細島に民間で建設しているごみ処理施設への持込になると思いますので、経費節減が望めます。門川ではアルミ缶以下10項目にわたる容器回収分別を実施していますが、ペットボトルは広域連合として回収を検討しているところです。

## 要望

町補助金の一律1割削減に関して、交付団体の活動内容調査も含め適正であるか見直しを要望します。

9月議会は、主に17年度決算に対する審査の議会でした。当委員会は、農林水産業・都市建設・水道関係の17年度の各事業の成果について審査をしました。大きな事業としては、門川漁港の浮き棧橋の設置と加草配水池の竣工でした。きびしい財政の中、いかにムダ無く有効に予算が執行されているか各委員が、いろいろな角度から様々な質疑をしました。

**Q** 町内の農地面積は増えているのか減っているのか。

**A** 16年度に比べ17年度は宅地化は若干押さえられたが、18年度は再び農地から宅地化への傾向にあります。

**Q** 海面に魚礁の設置、イセエビ・アワビ等の放流、五十鈴川にアユ・うなぎ等の放流、門川漁港内に浮き棧橋が設置されたが、その効果はどうか。

**A** 魚礁の効果としてはイセエビの水揚げも増し良好です。浮き棧橋については、潮の干満に関係無く荷揚作業が容易になったと好評です。

**Q** 新たに加草配水池ができたが、その効果はどうか。

**A** 末端の住宅地まで平均的な水圧を保つことができる様になりました。

**Q** 水道料金は今後値上げを考えているのか。

**A** 兎田配水池の老朽化対策もあるので、専門家を交えて本格的に検討する時期だと思いません。

# 一般会計・特別会計のすべての補正を 全会一致で可決

## 主な補正は

イセエビ礁・並型魚礁設置などの水産業振興費1,778万円。  
船越・熊毛田地区の林道復旧のための治山林道事業費1,717万円。  
西門川中のベランダ手すり改修事業費280万円。

等であります。



		今回の補正額
特別会計	一般会計	1億2,086万円
	国民保険	1億8,104万円
	介護保険	5,055万円
	簡易水道	127万円

# 一般質問

## 10名の議員が登壇!



石油高騰とその対策

黒木 義秋

町長：農漁業者の声を関係当局へ

問

現在この問題は国内にとつても大変な問題であることは産業はもちろん日常生活でも実感するところですが、  
門川町では漁業及びハウス農業にとつても急激なコストアップをきたした大変苦しんでいるのが実態でしょう。門川町行政としては具体的に役立つ指針と指導をどのように行うのか伺いたい。

町長

農漁業だけでなく多くの産業に影響を及ぼしている。全国的な問題で長期に及ぶことも予想される。町としての対策を講じるのは厳しい状況で国県の施策を見ながら対応すべき問題。漁業や農業の現場の声は県当局や関係当局に粘り強く機会を見ながら訴えていきたい。

## 青パト(防犯パトロールカー)の使用は

安田 茂明

町長：安心安全な町づくりに活用



問

青色回転灯付き防犯パトロールカーは青少年指導及び子供見守り隊に大変役に立つと思うが、どのような使用を考えているのか。

町長

県JA共済から青パトの寄贈を受け総務課と教育委員会を中心とした17人の職員がパトロールをする。贈呈を受けた後、ほぼ毎日のように地域防犯活動を町内の巡回や児童生徒の下校時の見守りなどをやっている。安心安全な町づくりに目指し有効活用していきたい。



防犯活動に活躍する青パト

問

水門の管理について

大池・小松に水門があるが、水門管理の責任は、県・町・地元のだれなのか。洪水の際は流木等で大変だと思うが、又、広域農道より降り口は出来ないのか。

町長

管理責任は町であり、又、降り口については、地元区長及び管理者と相談しながら検討していきたい。

街灯の設置について

問

加草須賀崎地区及び線路沿の町道が夕方下校時に暗いが街灯をもう少し多く設置できないか。

町長

街灯については、地元管理をまかせており、町は設置の際に、7割補助しているが地元より要望は出ていない。



# 「サテライト宮崎」問題

水永 正継

## 町長：加草総区の意向を尊重

**問**

ギャンブル施設「サテライト宮崎」の進出について、多くの町民が心配するところとなったが町としてのとるべき態度について伺いたい。

**町長**

加草総区の皆さんの意向に添うような対応を取っていく。

ギャンブル施設なので、学校関係者が心配していることを聞いていますので、「サテライト宮崎」はどういう対策を打とうとしているのか、また、どういう悪影響があるのか、直接「サテライト宮崎」に問い正してくださいと申し上げている。

**問**

憲法九条及び教育基本法の改定問題、国民保護法に基づく町条例の制定、共謀罪法案の問題など、日本を急速にアメリカと一緒に戦う戦争のできる国にしようとしているが、戦争反対、平和を貫く方向での政治姿勢が大事ではないか。

**町長**

これらの問題は、日本をアメリカと一緒に戦争のできる国にしよ

うとしていないとは全く認識していない。あくまでも平和のための議論がなされていると解釈している。

かつての日本の侵略戦争に対しては、アジアの国々と友好を深めて、戦争反対、平和を貫く政治姿勢が大事である。

**教育長**

教育基本法改定問題については、今後、国における慎重な審議を見守っていききたい。

戦争反対、平和を貫く政治姿勢については町長と同じ考えである。

**問**

国民健康保健証への臓器提供意思表示欄の設定について

**町長**

すでに門川町では、日本臓器移植ネットワークの発行する全国統一の臓器提供意思表示「カード」や「シート」を希望者に渡して実施している。今後、この制度の周知を図っていき、日本臓器提供ネットワークが行うドナーの確保に協力していきたい。

## 職員の評価基準



浜口 惇

**問**

町職員は町民に行政事務を公平にサービスすることが職務だと思うが、評価の基準が必要か。

**町長**

達成度を客観的に評価するシステムが必要。町民の満足度は職員の基礎知識、企画力、判断力、行動力、柔軟性、責任感、意欲などによって違ってくるため、これも評価の基準の基準になる。職員の目標設定、自己評価などから実施していきたい。

**問**

障害者自立支援法の施行により、自立支援が阻害されていると思うが、利用料軽減の援助について検討しないか。

**町長**

利用者の負担は原則一割だが、それが過重にならないように世帯の所得に応じた上限額の設定、預貯金や資産に応じた個別の減免措置も講じられている。本年4月の施行なので、今後、十分に検証して行きたい。

町長：目標設定、自己評価から行う



# 職員の地区担当制の設置を

猪倉 照央

## 町長 .. 研究し検討する



**問**

町民と行政が協力して町づくりを進めるため、町の職員が住民と同じ立場として、各区の活動を支援するとともに、各区の課題解決等の相談、助言を行い、住民による自主的な地域づくりや、これからの住民自治による「まちづくり」に寄与できるよう職員による「地区担当制」を設けてはどうか。

**町長**

職員が自主的に参加することは良いことであるが、地区担当として休日や勤務時間外の地区行事などに参加となれば、

**問**

業務上の規定の問題、時間外手当の問題など研究、検討が必要である。

**町長**

各種審議会等に女性の登用を図れ。また、町長の諮問機関として、女性だけの委員会を設置し、女性の視点から町の活性化を図ってはどうか。

先般農業委員会に女性の委員が誕生した。今後も意識して取り組みたい。また、委員会設置は先ず男女共同参画を進める必要がある。

**問**

県森林環境税の用途は

**町長**

今年度事業としては、ボランティア団体等による森林づくり植樹活動への支援や、森林作業の体験学習へのリーダー派遣事業及び長期間放置された公益保全上重要な森林に広葉樹の植林、枝打ちなどをを行う森林づくり事業等が計画されています。

# 五十鈴川河口の台風災害対策

黒木 裕

## 町長：本格改修を県に陳情



**問**

五十鈴川河口の台風災害対策と町全域の河川改修、内水対策について聞きたい。

**町長**

中須地区堤防かさ上げ工事は10月に県が農林水産省より実施事業認可を受け、11月地元説明会、その後測量及び実施設計、来年の2月初旬の着工予定。五十鈴川河口の砂州堆積土砂の処理問題、高波による消波ブロック設置問題等は河口周辺整備協議会で協議をし、既に消波ブロックについては、一部実施している。本町都市下水路の強制排水設備については河川改修及び河口周辺の動向を見ながら今後検討する。丸バエ川、鳴子川については堆積土砂の撤去、草刈等の整備を図っているし、五十

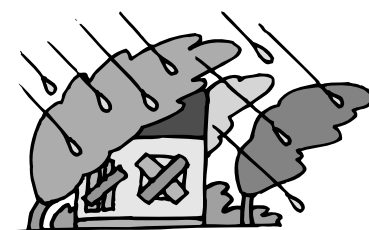
鈴川については床上浸水対策特別緊急事業、漏水対策事業による堤防補強等の実施を行う。

**問**

「心の杜」の宿泊施設の新設は。

**町長**

「心の杜」の当面の課題として、短期的な経営改善、長期的には抜本的に施設全体の改善が必要なので宿泊施設については長期的観点にたつた検討課題の一つである。





# 「心の杜」の今後の運営計画は

朝倉 利文

## 町長：経営改善委員会を設立し検討する



経営改善が望まれる「心の杜」

### 問

福祉健康交流センターかどがわ温泉「心の杜」は、平成10年12月の開設以来、8年目を迎える施設であるが、以下の点について伺いたい。

- ① 運営の収支決算の累計は。
- ② 町内利用者が20%である現状への打開策は。
- ③ 具体的な改善計画は。

### 町長

① 収支決算は累積で、平成10年度より平成17年度末現在で、約11億9千9百万円の収入に対し、支出が約14億1千4百万円で、うち約2億1千5百万円が一般財源からの繰入です。

② 町内利用者増を目指すため、今後も積極的なPRと、町民の皆様にとつて利用しやすいシステムの導入等を検討していきたいと考えています。

③ 国の地域振興アドバイザー制度を利用し、専門家の意見を伺っているところで、改善計画については、「心の杜経営改善委員会」を設立し、利用者の意見も聞きながら、全体的な改善策を検討していきたいと考えています。

## 総合的な行政力の向上



平田 真文

### 問

町長になられてこの5ヶ月に総合的な行政力を高めるために行つてこられたこと、また今後行われる具体策を示してください。

町長：職員との話し合いで、各職員の強み・意欲を引き出している

の能力×意欲であると思つていますので能力面は管理職に、部下の育成に目を向けさせながらOJTや自己啓発を進めていきたいと考えております。

まだ就任以来4ヶ月半ですから大きな成果をお示しできませんが、職員を介して行政力を高めていこうとしております。職員ミーティングを実施し、各職員の仕事面の強みや意欲を私にPRしてもらい、私の考えも話しながら意識的に対話を深めています。仕事の成果はその人

今後の教育研修に関しては、今までも多くの教育研修に参加させていますが、今後は管理職を対象にしたマネジメント力を高める研修を取り入れたらと思っております。できたら民間企業の管理職と一緒に受けることのできるコースなど、研修費用の問題もあります。そのような研修を管理職は元より、これから課長

候補になるような職員にもぜひ7〜8人位ずつ3年位かけて管理職教育を一巡させていきたいと考えています。まだまだ各課によつて対応する職員にいろいろな差があり、課内でも報告・連絡・相談がきつちりなされていないこともあり、しかしながら、職員の中には本当にいい能力や特技を持っている者がたくさんいます。わかっています。そのためにも人事の適材適所というところもいろいろ考えていきたいとおもいます。

※OJT・・・(on the job trainingの略)・・・職業的指導手法のひとつで、上司や先輩が部下や後輩に具体的な仕事を通じて仕事に必要な知識・技術などを修得させること。

「うみすずめ」前に観光案内の看板設置を



小林 芳彦

町長 .. P R看板設置を  
前向きに検討したい

問

レストランうみすずめの敷地内に門川町の観光案内や四季折々に門川で水揚げされる魚などを描いた看板の設置はできないか。

町長

町の北と南の入口に「どこに何がある」という観光案内看板を設置することを関係課にと協議しているところで「どこに設置したらいいのか」「どういう場所がふさわしいのか」など詰めていかなければいけないところがあります。来年度の当初予算に組み入れるよう、前向きに検討していきたい。

問

上納屋地区の信号機設置については、2回目的一般質問になるのですが、依然として周辺住民は信号機設置を強く望んでいます。また、今後の納屋地区の高齢化、交通量を考えたときに門川町はもっと働きかけを強めるべきではないか。

町長

町としても定周期式信号機への変更を関係機関に強く要望しています。しかしながら、宮崎公安委員会によりますと予算の関係で県内に年間15カ所程度しか設置できない。また、新設道路を優先的に設置するため、厳しい状況にあることも事実であります。これからも粘り強く関係機関に働きかけをしていきたい。



レストランうみすずめ

固定資産税率の引き下げを検討せよ

長友幸太郎

町長：諸々の状況を勘案しつつ慎重に検討

問

昭和31年度以来、固定資産税率を標準税率に0.2上乗せの百分の1.6で課税しているが、県内では半分以上の市町が標準税率百分の1.4で課税しており、本町でも税率引き下げの検討を早急にしたら。

町長

税率は市町村の財政状況等によりある程度の上乗せができる程度で延岡日方も1.6で課税している。一方行財政改革に伴う地方交付税の見直し等自主財源の確保がきびしい状況にあるので、今後諸々の状況を勘案しながら慎重に検討していく。

国保税を単税賦課収納へ見直しせよ

問

国保税の収納未済額も八千万円を超える程に膨らみ、事業運営への支障も懸念され、税の賦課収納について抜本的改善の時期がきていると思うがどうか。

町長

国保事業の健全な運営を行うため滞納額の縮小に努め、国保財政の健全化に取り組まなければならない。納税方式については、集合・単税方式それぞれにメリット・デメリットがあるので関係課で総合的に検討していく。

問

中山川の雑草除去整備について

中山川栄橋から梅ノ木橋までの区間は雑草が繁茂し、流水は濺み、家庭雑排水の汚濁悪臭で周辺環境を悪化させているが早期に環境整備が実施されるよう県への働きかけを。

町長

河川内の雑草、堆積土砂の問題は、環境の悪化・治水上の問題もあり、重要な問題と認識し、本年度も引き続き県に要望して参りたい。



**消防団本部のポンプ車を買替えます。  
価格は1,407万円です。**



消防ポンプ自動車(イメージ図)

## 条例が変わりました

### 国保関係

- ・ 70才以上の高齢者で一定以上の所得のある方の一部負担が2割から3割に変わります。
- ・ 出産育児一時金の支給額が現行30万円から35万円に増額されます。

### 農道整備関係

- ・ 城屋敷地区の中新地地区灌漑排水路整備事業費の一部を受益者に負担していただくこととなります。

## 臨時議会が開催されました

第2回臨時議会を8月11日に開会し、門川中学校体育館建設の主体工事請負契約について議決しました。

内容は次のとおりです。

#### 建設業者名

吉原・森建設共同企業体

#### 契約金額

2億8,455万円

#### 工事日程

平成18年8月15日着工  
平成19年2月23日竣工予定  
その後旧体育館が解体される予定です。



尾末神社大祭  
今年は11月12日(日)に開催



西門川小学校運動会



永願寺奥ノ院 (中村地区)



門川小学校運動会



この度の台風13号で  
被災された皆様に  
心よりお見舞い申し上げます。

**議会を傍聴しませんか？**  
傍聴はどなたでもできます。

9月議会では、延べ34名の町民の皆様が  
傍聴に来てくださいました。  
次回の議会は12月です。

皆様の傍聴を心よりお待ちしております。

お問い合わせは議会事務局まで  
TEL 63-1140 (内線271)

● 編 ●  
● 集 ●  
● 後 ●  
● 記 ●

敬老の日  
もう少し中年という期間を延ば  
したら、もっと元気な老人が増  
えるのではないのでしょうか。  
米良 昭平

門川町を覗いて回って見ると、あら  
ためて我が町の良さが解ってくる。  
小林 芳彦

9月の延岡での竜巻災害には驚  
かされ、「備えあれば憂いなし」  
が通用しない自然の恐怖を思い  
知らされました。  
黒木 裕

町制施行70年が過ぎ、来年3月  
は草川小学校が創立100年です。  
歴史の流れを感じます。  
内山 善信

